

私は、あまりそういうことわからぬいわ。
「別に甘えてくればいいんじやない?」



KUREHA NATSUME

なつめ

棗 くれは

身長160cm バストEカップ

棗姉妹の四女でいろはの双子の妹。
気配りできるいろはのことを尊敬している。
気が強そうな目と素っ気ない感じが合わさり
周りに誤解されやすいが実は妹想いの良い子。
年の割に胸はあるが棗家は大きい姉妹が多く
妹達に負けてるので表には出さないが気にしている。
身長は少し高めで金髪も映える為に
読モなどのスカウトに誘われるが断っている。
赤ちゃんや小さい子は嫌いではないが
どう接してよいのかわからず苦手。
すぐベイの仕事も接し方がわからないので乗り気ではなく
プレイしていて戸惑ってばかりいたがエロい事を通して
仲良くなれる事に気付いてからは積極的になる。

…商店街露出系…



file2

路地裏で

このあたりが良さそうね。

じゃあ抱き上げるわよ？んじょつ……！

ケープももういらぬから仕舞つてつと。

よし始めるわよ。えつとまずは……、

これを弄つて入れやすくするのよね？

えつり足でして欲しい？
まあ……足が良いなら足でするけど……。



商店街の人通りが少ない場所を探し歩き、死角になつて いる裏路地を見つけたので
ここで種付けをすることに決めた。 くは。
まずはおっさんを抱き上げると、地面に敷いたタオルの上に優しく降ろした。
次に、自身も授乳ケープを脱いでベビーカーの荷物入れにしようと、
すぐベイで定番のちんぐり返しの体勢での種付けに移ろうとした。
そしていざ始めようとした瞬間に、なんとおっさんは足コキをお願いしてきた。
そんな知識が無いので戸惑っていた。 くはだが、
教えてもらひながら恐る恐る足でち〇ぽを扱き始めた。

「こんな感じで良いのかしら…？」

「…つ！」結構強めにしてるけど、痛くないの？

「うわあ…。すごいビクビクしてきたけど、

これって気持ち良いくてこと…？」

「え、嘘でしょ！もう出そうなのりど、どうすればつ…？」

今、射精されたら種付けにならないじゃない…？」

真面目な性格なればは、初めての足コキで戸惑いながらも、一生懸命にち〇こを扱いていた。初めてで加減がわからないだけの偶然だつたのだが、絶妙な力加減であつといふ間に射精へと導いていった。しかし、本当は絶頂させる為にではなく、あくまで『種付け』の前段階の為にしているところはは考えていたので、射精が近いと聞いて慌て始めた。



とにかく射精される前に急がなきや！
足離して……ここよね？ここに挿れて……？
本当は慣らしてから挿れるはずよね……？
つもう！時間がない！いいわよ私！
ん……うぐつ……いたつ……！
あっ……熱いのが流れてきてる……。
ぎりぎりで間に合つたことにほつとすると、
ぎりぎりで間に合つて良かつた……けど……。

ズッ♥

ズキッ

初めての時は痛みを和らげる為に慣らしながら挿入しようと考えていたが、
今にも爆発しそうなち○こを目の前に意を決してすぐ挿入することに。
破瓜の痛みを感じながらも中出しが間に合つたことにほつとするが、
それとは逆にくればは不満顔を浮かべていた。

す、少し納得できないわ……
こんなにすぐ出るなら、
足コキなんてしなければ良かつたわ……。
ちゃんと慣らしてないから次に挿れる時も
痛いとこから始まるじゃない……。
はあ……。それを考えると少し憂鬱だわ。



射精するのが早すぎて予定通りに出来なかつたのが不満なぐれはは、
破瓜の痛みも引きずり、足コキしたことを後悔していた。
次の行為の時も痛みを感じるだろうとため息をついて、
足コキはもう絶対しないとこの時には考えていた。
だが、面倒見の良いくればはお願いされることに弱く、
結局次回も同じこの場所で足コキすることになるのだった……。

世渡り下手な受付嬢

三浦しおり

身長158cm バストEカップ

大学を卒業して入社1年目になる受付嬢。
母子家庭で育ち、奨学金で入った大学を無事卒業できた
ものの、入社してすぐ倒産してしまう。
途方に暮れていたところをゆりか(くればの母親)に
声をかけてもらいすぐベイビーの受付嬢として働く。
入社前に『そういうお店』と説明されて少し迷うが、
裕福ではない家庭で育ち母親に心配させたくない、初就職先が
倒産したことを隠してすぐベイビーに就職を決意。
押しに弱い性格ながらも仕事はきっちりこなしていて、
多少人付き合いが苦手ながらも接客態度も問題はなく、
ゆりか含め子供の棗姉妹達とも仲良くなり順風満帆だった。
そんなある日、托卵嬢だと勘違いされて指名されてしまい
最初は断るものの、『真面目』すぎる性格のせいで、
断って客が他の店などに行って売り上げが減ると、
拾ってくれたゆりか達に迷惑をかけるのでは?と思い直す。
その後、ゆりか達にも内緒で『棗しおり』として棗姉妹に扮して
働き始めるのだった

『せっかく就職できたのに
みんなに迷惑かけられないわ。』



世渡り下手な受付嬢

三浦しおり

身長158cm バストEカップ

大学を卒業して入社1年目になる受付嬢。
母子家庭で育ち、奨学金で入った大学を無事卒業できた
ものの、入社してすぐ倒産してしまう。
途方に暮れていたところをゆりか(くればの母親)に
声をかけてもらいすぐベイビーの受付嬢として働く。
入社前に『そういうお店』と説明されて少し迷うが、
裕福ではない家庭で育ち母親に心配させたくない、初就職先が
倒産したことを隠してすぐベイビーに就職を決意。
押しに弱い性格ながらも仕事はきっちりこなしていて、
多少人付き合いが苦手ながらも接客態度も問題はなく、
ゆりか含め子供の棗姉妹達とも仲良くなり順風満帆だった。
そんなある日、托卵嬢だと勘違いされて指名されてしまい
最初は断るものの、『真面目』すぎる性格のせいで、
断って客が他の店などに行って売り上げが減ると、
拾ってくれたゆりか達に迷惑をかけるのでは?と思い直す。
その後、ゆりか達にも内緒で『棗しおり』として棗姉妹に扮して
働き始めるのだった

『せっかく就職できたのに
みんなに迷惑かけられないわ。』

